

平成31年度宮崎科学技術館事業計画書

基本方針

宮崎科学技術館は、宮崎市制60周年記念事業として、明日を担う子どもたちに「科学する心」と「創造性」を培う場を提供するために開設された施設である。昭和62年8月の開館以来、一貫して充実した施設・設備を活用した管理運営に努めてきた。特に近年、利用者は幼児から高齢者までの幅広く、障がい者の利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営に努めている。今後さらに市民から信頼されるよう、次の3つの基本方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行っていく。

〈基本方針1〉科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図り、未来を担う子どもたちの「科学する心」と「創造性」を培うとともに、あらゆる世代に科学を楽しく体験する機会と場を提供する。

〈基本方針2〉地域の関係機関・団体・ボランティアと連携・協働し、利用者のニーズに応じた満足度の高いサービスの提供を通して地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉科学の普遍性と革新性を踏まえた魅力ある事業を展開するために、全職員が教育的な目的や効果を意識した事業運営を行うとともに、的確な経営感覚による施設運営を行う。

事業概要

1 常設展示事業

常に展示物の安全管理と安定的稼働を念頭に置き、利用者が体験を通して科学の原理原則を発見・体得できるような展示配置や解説に努める。

2 教室事業

科学実験や工作、パソコン、天文等各種教室を実施し、利用者の科学への興味・関心を高めるとともに、市民ニーズに対応した事業展開に努める。

3 プラネタリウム事業

全天周の投射システムによる幅広い年齢層に応じた番組や小・中学校の学習番組の投射に加え、絵本の読み聞かせや各種コンサートの実施など、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムを活用した事業展開に努める。

4 イベント事業

当館の設置目的に沿った各種イベントの一層の充実を図り、科学に親しむ機会や環境問題、エネルギー問題などを身近に感じてもらう機会の創出・提供に努める。

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

小・中学校、高校、大学、企業や教育ボランティアJSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)などの関係団体との更なる連携強化による一層の事業展開に努める。

6 その他

宮崎市教育施設との連携による新規事業や、多様なメディアを活用した情報提供、友の会への勧誘などを通して、施設の有効活用や利用者拡大に努める。

1 常設展示事業

来館者が、約100点の常設展示物による遊びや体験を通して、科学の不思議に気づき、体得できるように努める。また、ワークシート等で展示解説の充実を図る。

2 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

幼児、小・中学生を中心に、多様な入館者を対象とした科学実験や工作等の教室を実施する。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	チャレンジサイエンス	入館者	30回	なし
2	JSC不思議なサイエンスショー	入館者	10回	なし
3	なんでもサイエンス ※スペシャルサイエンスショー2回を含む	入館者	20回	なし
4	ダ・ヴィンチ工房	小4～中3	6回	各20人
5	自由研究サポート教室	小・中学生	3回	20人
6	生きがい科学館	一 般	8回	各20人
7	科学技術週間工作教室	入館者(小3～小6)	10回	各20人
8	宮崎少年少女発明クラブ	小4～中3	20回	30人
9	コスモランド教室	園児	12回	各240人
10	コスモランドサイエンスラボ	小学生	随時	なし
11	サイエンス親子学習教室	親子(小5)	2回	各15組
12	ちょこっと工作(アウトリーチ)	親子	随時	なし

(2) パソコン教室

小・中学生から一般を対象に、パソコンに対する興味・関心を高め、パソコンの基本操作やインターネット、プログラミングなどを体験する教室を実施する。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定員
1	すいすいパソコン	幼児～一般	26回	なし
2	プログラミング体験	幼児～一般	6回	なし

(3) 天文教室

幼児から一般を対象に、プラネタリウムホールを活用した、星座の学習や星座にまつわる楽しい神話等の解説を通して、天文に関する知識の普及を行い、興味・関心を高める。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	星空教室	幼児～一般	11回	各80人
2	スターウォッチング教室(アウトリーチ)	団 体	5回	各30～150人程度
3	おはよう月の観望会	幼児～一般	2回	なし
4	部分日食観望会	幼児～一般	1回	なし

(4) プラネタリウム学習教室

プラネタリウムホールで、小学4、6年生、中学3年生を対象に、学校で学習する天体運動の学習を補充、深化できるような授業を行う。さらに、天文分野の学習に困難を感じている子

どもたちへの理解を深める機会とし、天文に関する興味・関心を高め、知識の普及を行う。

No.	教 室 名	対 象	回 数	定 員
1	プラネタリウム親子学習教室①	小学4年生	2回	約240人
2	プラネタリウム親子学習教室②	小学6年生	2回	約240人
3	プラネタリウム親子学習教室③	中学3年生	1回	約240人

3 プラネタリウム事業

星や星座、天体現象に関する解説を行い、各種番組を充実させることで、天文・宇宙科学に対する認識を深めてもらうとともに、宇宙への夢とロマンを提供する。

また、全天周放映システムによる各種コンサート等の演出を工夫することで、世界最大級の大きさを誇るプラネタリウムホールの有効活用を図る。

(1) 番組投映

① 学習番組

対 象 区 分	番 組 名
幼児	「オズのまほうつかい」(永)「むしむし星空大行進」(永)
小学生	「スタジオ444」(永) [小4] 「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(永) [小6]
中学生	「この空に願いをこめて…」(永) [中3]
一般	「DARK」(永)「宇宙への旅」(永)

② 一般番組

対 象 区 分	番 組 名
ファミリー	「新番組①」「新番組②」「新番組③」「ちびまる子ちゃん」「こぐま座のティオ」「ポケットモンスター サン&ムーン」「名探偵コナン」「忍たま乱太郎の宇宙大冒険」「ノーマンザスノーマン2」「DARK」(永)「宇宙への旅」(永)「宇宙のエネギー」(永)「星になったチロ」(永)「今夜、銀河の片隅で」(永)「ピーターパン」(永)

※(永)＝永久投映権を有する番組

③ 自主制作番組

「ひむか神話 ～太陽の女神・アマテラス～」

(2) コンサート

コ ン サ ー ト 名		対 象	実施時期
みんなでキラキラ	(こどもの日スペシャル)	幼 児～一般	5月3日(金・祝)
星空コンサート	(クリスマススペシャル)	幼 児～一般	12月21日(土)
星空と音楽のタベ	(Part118)	中学生～一般	4月の会議で決定
	(Part119)	中学生～一般	4月の会議で決定

(3) その他

イベント名	内 容	実施時期
星空さんぽ in プラネタリウム	星座等の世界に浸れる 50 分間の星空生解説を行う。解説後はミニ観望会を行う。	不定期 【3 回】
キッズ プラネタリウム	プラネタリウムホールの照明を明るめに設定し、幼児向けに楽しい星の話をプラネタリウムや映像で行う。	原則偶数月第 4 木曜 【6 回】
えほんの読み聞かせ in プラネタリウム	ドームに絵本を大きく投映し、ボランティアの朗読とともに絵本の読み聞かせを行う。	原則毎月第 2 火曜 【1 2 回】

4 イベント事業

あらゆる世代を対象に、科学に関する興味・関心を高めるイベントや環境問題など、社会の変化に対応した身近なテーマを取り上げた各種イベントを主催や共催により行う。

(1) 主催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期
1	サイエンスカフェ	科学的な知識や情報を持つ市民を育成するために、科学の専門家と市民が集える機会を設け、科学の有用性を周知する。また、中心市街地活性化にも寄与するイベントの実施を行う。	通年 【3 回】
2	スターウォッチング in まちなか	市民の天文分野の普及啓発のため、館外での天体観望会を市街地や郊外で実施する。	通年 【4 回】
3	【新規】 星空観察プロジェクト（星空継続観察）	環境省が行う「星空観察プロジェクト」に参画し、屋外での星空調査および天体観望会を行う。	通年 【2 回】 8 月、1 月実施予定
4	ゴールデンウィーク イベント こどもの日 <u>無料開放日</u>	鯉のぼりを正面玄関付近に設置するとともに、サイエンスショーや工作教室等を実施する。多くの子どもたちに科学に親しんでもらうために、こどもの日は施設を無料開放とする。	4 月 27 日（土） ～5 月 6 日（月）
5	第 11 回 地球を守ろう！ 環境展	環境問題を解決するための科学技術に関する展示会や実験教室等を実施することにより、環境問題への関心を高め、科学技術への理解を深める。	6 月 2 日（日） ～6 月 23 日（日）

No.	イベント名	内 容	実施時期
6	南極パネル展 南極の氷贈呈式 &実験ショー	国立極地研究所の協力により南極の氷を贈呈してもらい、自然環境を考える機会にする。南極を紹介したパネル展示や、南極の氷を使った簡単な実験をする。	6月29日(土) ～7月15日(月・祝) 贈呈式・実験ショー 7月14日(日)
7	【新規】 アポロ50周年記念 イベント「ミニアポ ロ展」	アポロ11号が月面着陸を果たして50周年という節目を迎えるにあたり展示物・イーグル号の魅力を再発信する。同時に「宇宙開発」に関する興味・関心を高め、身近な天体でもある月への夢やロマンを育む。	6月26日(水) ～9月 1日(日)
8	【新規】 見てみよう！科学技 術映像祭	館内イベントや夏休み期間に併せて、科学技術映像祭の入選作品を上映することで、イベントの内容充実や来館者の科学への興味関心を高める。	7月20日(土) ～9月 1日(日)
9	「命の科学」フェア 医学体験 「なるほど！なっとく！人体の科学」	「医療」の面から、「命」について科学的、体験的に考えることができる場を提供する。「医学体験」を通して、自分の体を知り、健康への意識を高める。また、心肺蘇生法など、救急医療体験から意識の高揚及び、その啓発を図る。	7月21日(日)
10	開館記念日 ・感謝のつどい 無料開放日	開館記念日に利用者への感謝の意を表し、施設を無料開放してサイエンスショーや工作教室等を実施する。	8月 2日(金)
11	青少年のための科学 の祭典2019宮崎 大会	科学や科学技術の不思議さや楽しさを体験できる実験ブースを多数用意し、体験を通して科学に対する興味・関心を深める。 ※プラネタリウムを除いて入館無料	8月 3日(土) ～ 4日(日)
12	【新規】 博学連携推進事業 教員のための博物館 の日	県内博物館等と連携し、教員を対象に、博学連携の取組について周知していく。	8月7日(水)
13	スターフェスティバ ル	市民の天文分野の普及啓発のため、星の写真パネルの展示などを行う。期間中に講演やワークショップ、観望会等を実施する。	8月10日(土) ～28日(水)
14	【新規】 JSC 30周年記念事業	JSC 発足30周年を記念したイベントを実施する。	未定

No.	イベント名	内 容	実施時期
15	科学技術館 シルバーdays	高齢者と家族が楽しく過ごす場を提供するため、65歳以上の方及びその同伴家族の方全員を入場無料にする。	9月14日（土） ～16日（月・祝）
16	第11回 JSCフェスティバル	科学技術館シルバーdays にあわせて、JSCの活動を写真・作品展示で紹介し、実験ショーを同時に行う。	9月14日（土） ～16日（月・祝）
17	「名月展」 中秋の名月大観望会	市民の天文分野の普及啓発のため、中秋の名月にあわせて、観望会と月の魅力を紹介するパネル展を行う。	9月19日（木） ～10月 6日（日） 大観望会 9月13日（金）
18	ナイトミュージアム	夜間を効果的に使った演出とプログラムを準備し、科学館の面白さの再発見と、科学現象や科学技術に対する興味・関心を深める機会にする。	10月19日（土） 10月26日（土）
19	平成31年度 宇宙画作品展	県内の小中学校から宇宙に関するテーマにそった絵画を募集し、その入選作品を展示する。最優秀賞を受賞した作品は全国の作品展に出展する。銅賞以上の受賞者の表彰式を行う。	11月21日（木） ～12月15日（日） 表彰式 12月 8日（日）
20	【新規】 企画展「科学捜査展」	様々な角度から科学の楽しさや不思議さに迫る企画展を実施することで、科学に対する興味・関心を高める機会にする。	2月26日（水） ～3月29日（日）
21	各種団体助成事業	助成団体：宮崎少年少女発明クラブ 小・中学生に創作活動の場を提供し、科学的な興味・関心を高めるとともに、ものづくりの喜びを体得させる。	通年 【20回】
		助成団体：JSC（ジョイフル・サイエンス・クラブ） 当館で実施する各種イベントやサイエンスショーなどに協力し、科学する青少年の育成及び生涯学習に寄与することを目的とする団体である。	随時

(2) 共催事業

No.	イベント名	内 容	実施時期
1	航空教室 (航空大学校主催)	小・中学生を対象に、空を飛ぶことについての正しい知識を持ってもらうことを通して、航空思想の普及啓発を図る。	7月27日(土) 2月 1日(土) 【2回】
2	宮崎地区サイエンス コンクール展 (みやざきサイエンティスト育成 推進事業実行委員会主催)	宮崎地区(1市2町)の小・中学生、高校生の理科の自由研究に関する作品展を行うことを通して、科学技術への興味・関心を高める。	8月30日(金) ～9月 8日(日)
3	宮崎県発明くふう展 (宮崎県発明協会主催)	創造力に富む人材の育成と発明の奨励を図るとともに、その実用化を促進し、科学技術に対する意識の高揚と本県工業の発展に寄与する。	10月12日(土) ～14日(月・祝)
4	宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による毛筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	10月29日(火) ～11月10日(日)
5	宮崎市人権尊重ポスター 展	宮崎市の小中学生による人権尊重をテーマに描かれたポスター、約200点を展示し、小中学生や関係者の科学館利用を図る。	12月18日(水) ～27日(金)
6	宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校書写部会主催)	宮崎市の中学生による硬筆の作品を展示し、中学生や関係者の科学館利用を図る。	1月15日(水) ～26日(日)

5 人的ネットワークの一層の連携強化による事業展開

- (1) 小・中学校、高校、大学、企業との連携を通して、展示事業や各種イベント等の充実と、相互補完体制を築き、子どもたちの「科学する心」や「創造性」を育むよう努める。
- (2) 「JSC(ジョイフル・サイエンス・クラブ)」との連携を通して、教室事業等の一層の充実を図るとともに、アウトリーチ活動を積極的に展開する。
- (3) 天文愛好者との連携による天文教室や天体観望会、世界最大級のプラネタリウムの積極的な活用による各種コンサートの開催等を通じて市民の天文科学への興味・関心を高める。
- (4) 宮崎科学技術館運営ボランティア、宮崎大学(各工作教室開催日における教育研修生の派遣等)との連携により、来館者への案内サービスの向上に努める。

6 その他

- (1) 広報の充実
ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用し広報の充実に努める。
- (2) 売店事業の円滑な運営
来館者へのサービス向上を図るため、売店の円滑な運営・充実に努める。
- (3) 他館との連携
協会が管理する他施設との連携により、イベントにあわせた天体観望会を実施する。

平成31年度宮崎市歴史資料館事業計画書

基本方針

みやざき歴史文化館は、歴史、民俗、神話等に関する資料の収集、保管、展示のほか、子どもたちや市民に郷土の歴史、伝統文化、神話等に接する機会と場所を提供するため、平成4年に市制60周年記念事業の一つとして蓮ヶ池史跡公園に建設された。また、宮崎市佐土原歴史資料館は鶴松館（H.5年開館）・佐土原出土文化財管理センター（H.7年開館）・商家資料館「旧阪本家」（H.13年開館）から成り、佐土原地区の歴史や文化等を紹介するとともに、資料の保管・研究のために建設された。宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館は、平成5年に高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園に建設され、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保管・展示している。

平成29年度から佐土原歴史資料館と天ヶ城歴史民俗資料館の開館日は限定されたが、みやざき歴史文化館へ事務等の集約と職員相互の連携を円滑に行い、充実した施設運営を目指す。

また、みやざき歴史文化館は平成31年度で閉館することとなっており、これまでの来館者への感謝の意味も込めて、閉館に向けたイベント開催も計画しているところである。

そこで、「宮崎市歴史資料館3館」として、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために事業を展開していき、管理運営の基本方針を次の3つとする。

〈基本方針1〉宮崎の歴史、民俗、神話等に関する調査及び研究、展示、講座などをおして、ふるさとのあゆみについての興味・関心を高め、郷土愛を育む。

〈基本方針2〉地域の関係機関・団体と連携し、歴史文化の拠点施設として、地域資源の調査・研究並びに活用・発信をとおして地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉コスト管理に基づいた効率的な施設運営をより一層推進する。

事業概要

1 展示事業

常設展示では、各館の歴史的背景、地域の特色等を踏まえ、展示物の入れ替えや、解説方法を工夫し、利用者が宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、日向神話等を楽しく学習する場を提供する。また、企画展示では、地域特性も考慮しながら、その年度に応じた収蔵資料を公開する。また様々な年齢層に興味を持っていただく内容の特別展を企画する。

2 講座・体験学習事業

専門家による古文書講座や歴史文化講座、学芸員による歴史探訪、学習指導員等による農耕体験学習や各種体験学習など幅広く学べる内容とする。

3 イベント事業

こどもの日イベントや夏の特別展等をはじめとして、季節や地域の伝統を取り入れ利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する。

4 授業支援・出前講座事業

各学校に出向き、収蔵する昔の道具を活用した小学校社会科の授業の支援や、回想法の趣旨を踏まえた講座、粉ひき体験などの出前講座を、年間を通じて実施する。

5 その他

ホームページやSNS等を活用した情報発信、年報・研究紀要による各種事業の普及広報活動の充実を図る。

【みやざき歴史文化館】

1 展示事業

(1) 常設展示

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話の世界に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

宮崎の歴史・文化に関連する資料を収集、調査研究し、1階展示ホールや2階展示ホール、ギャラリーを利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	企画展① 「歴史文化館のあゆみ展」	前年度に実施した各種体験学習等の様子をパネルで紹介する。	4月13日(土) ～6月 2日(日)
2	【新規】企画展② 「時の流れー懐かしのくらし風景ー」	新元号への改元を踏まえ、昭和・平成の宮崎の風景やくらしを紹介する。	7月20日(土) ～9月 1日(日)
3	【新規】企画展③ 「記録が語る地域の歴史展」	様々な資料に記されている「記録」を読み取り地域の隠れた文化財を紹介する。	10月19日(土) ～12月 8日(日)

2 講座事業

No.	講 座 名	内 容	回数	定 員
1	歴史文化講座	主に宮崎の歴史事象や歴史上の人物を取り扱った内容、民俗・民俗芸能に関する内容の講座を開設する。(夏休みに2回小学校高学年親子対象を実施予定)	6回	各50人
2	古文書講座	初級から中級程度の内容で年間16回開催する。	16回	各50人
3	歴史探訪	宮崎市内外にある史跡や文化財の見学をする。 9月14日(土)、11月16日(土)、 12月14日(土)、3月14日(土)	4回	各20人

3 体験学習事業

昔から行われてきた農耕体験学習、昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習を実施する。
体験学習講座の意義をひとつの文化の伝承であると捉え実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	農耕体験学習	さつまいもを栽培し、収穫した芋で焼き芋を作る。	3回	子どもと保護者 50人	5月12日(日) 7月21日(日) 10月 6日(日)
2	竹馬づくり	竹馬を作る。	1回	子どもと保護者 30人	5月26日(日)

3	オリジナル埴輪づくり	オリジナル埴輪を作る。	2回	子どもと保護者 30人	6月 9日(日) 8月25日(日)
4	まが玉づくり	滑石の教材でまが玉作りをする。	1回	子どもと保護者 ・一般30人	6月23日(日)
5	粉ひき体験	石臼を使って、粉挽き体験をする。	2回	子どもと保護者 30人	6月30日(日) 3月 8日(日)
6	けん玉づくり	竹でけん玉を作って遊ぶ。	2回	子どもと保護者 30人	7月 7日(日) 9月15日(日)
7	水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作る。	1回	子どもと保護者 30人	8月 4日(日)
8	釣竿を作って魚を釣ろう	竹の枝を落とし、油を抜いて釣竿を作り、その竿で魚を釣る。	2回	子どもと保護者 40人	10月13日(日) 10月20日(日)
9	ネイチャーゲーム	史跡公園内で自然を体感しながら様々な遊びをする。	1回	子どもと保護者 ・一般30人	10月27日(日)
10	ドングリを使ったおもちゃづくり	館周辺のドングリを使って、やじろべえなどのおもちゃを作る。	1回	子どもと保護者 30人	11月10日(日)
11	ミニクリスマスツリーづくり	史跡公園内の松ぼっくりを使って、クリスマスツリーを作る。	2回	子どもと保護者 30人	11月23日(土) 11月24日(日)
12	歴史館の餅つき	臼や杵を使用して餅をつく。	1回	子どもと保護者 50人	12月 1日(日)
13	ミニ門松づくり	正月用のミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 ・一般30人	12月 8日(日)
14	しめ縄づくり	正月用のしめ縄を作る。	1回	子どもと保護者 ・一般30人	12月15日(日)
15	独楽づくり	独楽を作って楽しく遊ぶ	1回	子どもと保護者 ・一般30人	1月12日(日)
16	羽釜でご飯炊き	かまどと羽釜でご飯を炊く。	1回	子どもと保護者 30人	1月19日(日)
17	藍染のハンカチをつくろう	ハンカチを藍で染める。	1回	子どもと保護者 ・一般30人	2月 9日(日)
18	おひな様をつくる	身近な材料を使って雛人形を作る。	1回	子どもと保護者 30人	2月23日(日)
19	でんでん太鼓をつくろう	身近な材料を使ってでんでん太鼓を作る。	1回	子どもと保護者 30人	3月15日(日)

4 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
こどもの日イベント	5月3日～5日の3日間に、鎧・兜の試着、野点、ウォークラリー、紙兜作り、うぐいす笛づくり等を行う。	5月 3日(金・祝) ～5月 5日(日・祝)
夏のイベント	夏休み期間中に「魚のつかみ取り」、「史跡公園生き物採集教室」などを実施する。	8月18日(日)
春のイベント	年度末に閉館をひかえ、市民の皆様のこれまでのご愛顧に感謝し、楽しいゲームや催し物を実施する。	3月1日(日)

5 授業支援・出前講座事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資することや、地域での歴史講座や竹細工作りなどの出前講座を、年間を通じて実施する。

6 回想法による福祉連携推進事業

福祉分野や地域との連携推進を目的に、地域の方々から寄贈された昔の生活用品等を用いた「回想法貸し出しセット」を活用し、福祉施設を対象にしたセット貸し出しや、関係団体との連携を図る。

7 その他

(1) 資料収集・調査研究

歴史資料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 資料の保存・保管

日常的に虫菌害対策を行い、薬害等のリスクの高い薬剤燻蒸の規模の縮小を図る。

併せて24時間の温湿度管理を行い、記録データを常に監視しながら歴史資料の保存・展示に適した環境作りに努める。

(3) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

(4) 年報・研究紀要の発行

みやざき歴史文化館・宮崎市佐土原歴史資料館・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の平成31年度事業概要及び、調査研究成果をまとめた「宮崎市歴史資料館年報及び研究紀要」を発行する。

(5) 広報の充実

館の行事案内やホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス、市広報の「遊・学・感」ページなどを有効活用し、来館者増に努める。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

佐土原地域の考古・歴史（特に佐土原藩の歴史）民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

佐土原地域の歴史・文化・民俗に関連する資料を収集・借用し、鶴松館や商家資料館等を利用して展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】企画展① 「佐土原旅事情」	佐土原から旅に出た人や旅をして佐土原にきた人などを紹介。また、その際に使われた道具、それらが分かる資料を展示する。	5月15日(水) ～6月14日(金)
2	【新規】企画展② 「音で見るさどわら」	佐土原に残っている文化をビデオや擬音語等を利用して紹介する。歴史文化に興味をもつきっかけをつくる。	10月26日(土) ～12月15日(日)

2 体験学習事業

昔の人々の暮らしと関連した製作体験学習等を親子や一般参加者を対象に実施する。

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	いざ出立！さどわら 歴史探検隊	佐土原城のまわりを散策しながら、佐土原の歴史や街の構造を学ぶと共に自然に親しむ。	1回	子どもと保護者 ・一般30人	4月14日(日)
2	わくわくどきどき 茶道体験	茶道流派指導者のもと、伝統的な茶道を体験する。	1回	子どもと保護者 ・一般20人	5月19日(日)
3	和を楽しむ 生け花 初体験	生け花の指導のもと、伝統的な生け花を体験する。	1回	子どもと保護者 ・一般20人	6月16日(日)
4	十三夜、月を愛でる	鶴松館で日本独自の文化である十三夜の月見をする。	1回	子どもと保護者 ・一般25人	10月11日(金)
5	佐土原の色と形 佐土原人形の絵付け ワークショップ	佐土原人形製作者の指導で絵付けを体験する。	1回	子どもと保護者 ・一般20人	11月 4日(月)
6	おとな社会科見学 佐土原城再発見	これまでに佐土原城について分かったことを現地で専門家の話を聞きながら学ぶ。	1回	一般30人	12月 1日(日)
7	佐土原の色と形 うずら車絵付け ワークショップ	郷土玩具に伝統工芸師の指導のもと絵付け体験をする。	1回	子どもと保護者 ・一般20人	2月 2日(日)

3 イベント事業

イベント名	内 容	実施時期
佐土原花しょうぶ祭り	鶴松館裏手にある花しょうぶ園の開花に合わせ、地域づくり協議会に協賛し、花しょうぶ観賞のためのイベントを実施する。	6月1日(土) ～6月2日(日)
神代独楽回し大会	佐土原の伝統的工芸品の神代独楽を使い、大人と子どもの部門別に独楽の回っている時間を競う。	1月5日(日)

4 学習支援（施設見学・出前講座・夏休み自由研究）

展示物や資料を活用した授業支援として、総合的な学習の時間及び社会科等、各学校の要望に沿いながら、施設見学や出前講座を実施する。また、夏休み時期に自由研究の資料提供や情報提供を行い、当館のPRを図ることで歴史初心者向けの門戸を広げ、家族連れ入館者の増加を目指したい。

No	学習支援	内 容	実施時期
1	夏休みの自由研究	小学生上学年向けに、3コース程度の郷土資料を本館に準備し、質問等に対応しながら、夏休みの自由研究作成に活用してもらう。	7月上旬 ～8月下旬

5 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財等の写真収集・調査研究を行い資料の充実を図る。

(2) 宮崎市城の駅(いろは館)・JR との協働

5月の連休時などには、子ども達をメインにしたイベント等を実施する。また、いろは館、JR企画とも協力して認知度を高め相乗効果を図る。

(3) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し、来館者増に努める。また、地域づくり協議会等とも連携をとり広報等に努めていく。

(4) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 展示事業

(1) 常設展示

高岡地区の考古・歴史、民俗・民俗芸能に関する資料を展示し、楽しく学びながら歴史や文化に対する関心と理解を深める。

(2) 企画展示

高岡地区の歴史・文化に関連する資料を収集、展示する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	【新規】企画展「思い出して・・・たかおか」展	高岡に関連する古い記録（写真・映像・記録類・民具など）を展示する。博物館資料の福祉分野への活用など回想法事業の推進に資する内容とする。さらに、関連イベントとして回想法ミニコンサートや庭園を利用した野点等も実施する。	10月 5日(土) ～12月 8日(日)

2 体験学習事業

昔から行われてきた人々の暮らしと関連した制作体験や歴史・美術等の体験学習を親子対象に実施する。（一部一般も対象）

No.	体験学習名	内 容	回数	対象・定員	実施時期
1	芋の畝づくりと植え付け	親子で芋の畝づくりと植え付けをする。	1回	子どもと保護者 40人	5月19日(日)
2	弓矢づくり	竹を利用して弓矢を作り、的当て遊びをする。	1回	子どもと保護者 30人	6月16日(日)
3	水鉄砲づくり	竹で水鉄砲を作って遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	7月21日(日)
4	夏休み図画工作作品を作ろう	図画工作の様々な表現方法を体験し、部屋に飾る作品を作る。	1回	子どもと保護者 30人	8月17日(土)
5	芋ほり	芋ほり体験を行う。	1回	子どもと保護者 40人	10月12日(土)
6	高木兼寛講座	高岡出身の偉人について学ぶ。	1回	子どもと保護者 ・一般20人	10月20日(日)
7	凧づくり	身近な材料で凧を作って凧揚げをして遊ぶ。	1回	子どもと保護者 30人	11月17日(日)
8	ミニ門松づくり	正月にあわせて玄関に飾るミニ門松を作る。	1回	子どもと保護者 40人	12月15日(日)
9	二見家でかまど炊飯	昔の人々が日常生活で使用していた炊飯道具でご飯を炊く。	1回	小学生と保護者 35人	2月16日(日)

3 授業支援事業

施設に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人々の暮らし」の授業の支援として各学校に出向き、学習の充実に資する。また、宮崎市教育委員会主催の施設学習支援事業や遠足等を活用した施設利用により来館した小学校に対し、授業の支援を行う。

4 その他

(1) 資料収集・調査研究

古文書史料や文化財の写真収集・調査研究を行い、資料の充実を図る。

(2) 年間広報紙の配布

当館の事業紹介・講座参加者募集などを行うため、高岡地区自治会あての回覧紙として、年1回3月に、翌年度の事業を紹介する「天ヶ城だより」を配布する。

(3) 広報の充実

ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを有効活用し、来館者増に努める。

(4) 他館との連携

協会の各館事業と積極的な連携・協力を図るとともに、歴史3館での横断的かつ効果的な業務の推進を図る。

平成31年度大淀川学習館事業計画書

基本方針

大淀川学習館は、宮崎市制70周年記念事業として、次世代を担う子どもたちに、「自然を大切にする心」と「郷土愛」を育むために開設された施設であり、平成7年3月の開館以来、施設・設備のアドバンテージを最大限に活かす管理運営に努めてきた。

特に近年は、幼児や小学校低学年による低年齢層の利用が最も多い一方で、障がいのある方や高齢の方による利用も増えていることから、利用者の多様なニーズを踏まえた、満足度の高い管理運営が、より一層求められている。

今後も、より多くの方々に愛され、活用される施設となるよう、以下の3つの運営方針のもと、継続的・発展的な管理運営を行う。

〈基本方針1〉 身近な素材を見て・触れて・体験しながら、次世代を担う子どもたちを中心に、全ての世代が「自然を大切にする心」と「郷土愛」を育むため、楽しく学ぶ機会を提供する。

〈基本方針2〉 関係する機関や団体と連携・協働し、広く市民に開かれた施設として、生涯学習、郷土学習、環境学習の場として、地域づくりに寄与する。

〈基本方針3〉 主に自然を扱った地域密着型の魅力ある事業を展開するため、職員が創意工夫を凝らし、教育的効果と費用対効果のバランスがとれた施設運営を行う。

事業概要

1 開館25周年記念事業

開館25周年を記念して、「特別講演会」及び「3Dシアター新番組制作」の二つを基軸とする事業を展開する。また、他事業においても、積極的に25周年との関連付けを図る。

2 展示事業

常設展示においては、利用者が最良の状態で活用できるような維持管理に努め、学校の学習進度や季節に応じた展示を行う。また、企画展示や作品展示では、自然環境に対して興味をもつ契機となる工夫をする。

3 学校対応事業

小中学校に対する支援においては、当館職員の専門性を活かし、学習指導要領に基づいて、出前講座や見学プログラム、職場体験学習等による直接支援と教職員講座による間接支援を行う。

4 団体対応事業

小中学校以外の教育機関や行政機関等の要請に応じて、幅広い世代が自然環境への理解を深める体験活動や学習プログラムを計画・実行し、地域づくりに寄与する。

5 教室事業

各種教室においては、「見て」「触れて」「体験して」のコンセプトを具現化し、参加者の満足感を満たしつつ、自然環境や水資源に対する興味を引き出す運営を行う。

6 イベント事業

イベント開催時に企画展と連動を図る等、四季に応じた計画を立て、自然環境の移り変わりに対する関心を高める運営を行う。また、参加者のニーズに応じて不断の見直しを行い、新規及びリピートの来館者獲得による当館の利用促進を図る。

7 その他

学習フィールドの多様性を確保するため、「里山の楽校」や「水辺の楽校」を維持・活用する。また、情報発信のために、紙媒体や電子媒体、マスメディアの活用を図る。さらに、関係行政機関や専門家、協会内の他館等との連携にも努める。

1 開館25周年記念事業

(1) 特別講演会

著名な講師を招いて、500～1000名規模で自然科学分野の特別講演会を行い、また、開館以来、大淀川学習館の発展に貢献した個人や団体を表彰することで、市民の自然環境に対する保全意識啓発や理解促進を図る。同時に、大淀川学習館の活動を広く周知する機会としても活用し、利用促進へつなげる。

(2) 3Dシアター新番組制作

現在、6つの番組を所有しており、月毎に4番組ずつを組み替えて上映している。(上映方法等は、「2 展示事業 (3) 川のシアター」参照)

所有している、大淀川流域の風景や生息する昆虫、川魚についての番組に加えて、日向灘に生息する海洋生物に関する番組を新規作成することで、自然界の山、川、海の関連性について、来館者が一体的に学ぶことができるようにする。

2 展示事業

(1) 常設展示及び解説

見て・触れて・体験しながら、自然環境に対する興味関心を高めたり、知的好奇心を満たしたりすることができるように、大淀川流域の自然や文化、歴史等についての展示を行う。加えて、職員の経験や専門性を活かし、企画展や季節に応じたミニ講座等の解説を行うことで、展示の効果を向上させる。また、学校教育への支援の一環として、学習指導要領との関連をふまえた展示の工夫も行う。

No.	展示・解説名	内 容	実施時期
1	常設展示	来館者が常に新鮮な気持ちで館内見学を行うことができるように、定期的に展示物の入替を行う。また、来館者が気持ちよく見学をすることができるように、機器のメンテナンスやギャラリーをはじめとする施設内の壁面等を活用した展示の充実に努める。	通年
2	ミニ講座	来館者が知的好奇心を満たすことができるように、企画展の内容や季節に応じた動植物について、職員が解説を行う。職員の専門性を生かすことで講座の充実に努める。	通年 【月2回以上】
3	さかなたちの食事タイム	来館者が河川の特徴や魚の生態に関する興味や関心を高めるため、大型水槽の魚が餌を食べる様子を公開する。命のある生き物を観察していることを実感できるように季節や魚の体調に応じた解説に努める。	通年 【週2回】
4	絵本の読み聞かせとおはなし	幼い子どもが生き物と出会い、自然環境に興味・関心を抱くきっかけをつくるため、図書室にある絵本を読み聞かせし、絵本と関連した生体を見たり、触れたりする体験活動を取り入れた解説を行う。	通年 【月1回】

(2) 生体展示

大淀川流域の多様で豊かな自然環境について、視覚的な理解を促すため、大淀川流域に生息する昆虫や水生生物等の生体展示を行う。加えて、展示生体の飼育技術を維持・発展させるために、職員の専門性向上に努める。

No.	展示名	内 容
1	自然楽習園 (チョウのへや)	チョウの生態や特徴について、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするため、主として学習館周辺を生息域とするチョウを、外気温に合わせた自然に近い状態で放蝶している。四季に応じたチョウの生態を観察することができる国内でも稀有な施設として、維持管理に努める。また、学校教育支援の一環として行う「チョウ講座」のフィールドとしても活用する。
2	展示ホール (サカナのへや)	大淀川流域の水生生物に対して、来館者が興味をもったり、知識を深めたりするために、大型水槽では、大淀川水系に生息する淡水魚を上流域、中流域、河口域ごとに展示し、円型水槽では、大淀川が流れ着く日向灘に生息している水生生物を展示している。小型水槽では、小型の淡水魚やカメなどを、個別に観察しやすいように展示している。また、絶滅危惧種アカメの飼育技術確立に努めている。
3	ホタル展示室 (ホタルのへや)	来館者が、環境保全のシンボリック的存在であるホタルの生態に興味をもち、環境保全に対する意識を啓発するために、ビオトープ水槽を活用して、季節に応じたホタルの展示を行っている。市環境保全課及びホタル保存会の協力を得ながら、展示方法や飼育技術について改善を進めている。

(3) 企画展示

大淀川流域の自然環境や歴史、文化について、興味・関心を高めるために、年間を通して、当館の基本方針に沿った企画展や作品展を開催する。

No.	企画展示名	内 容	実施時期
1	春の特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」	来館者が、身近な生物と触れ合うよさを感じたり、在来種と外来種の関係について学んだりするために、アメリカザリガニ釣りを体験できるタッチプールやパネル展示を行う。	4月13日(土) ～ 6月9日(日)
2	夏の特別企画展 「森の生き物と仲良くなろう！カブトムシ・クワガタムシ展」	子どもたちが昆虫に興味を抱き、自然科学を学ぶきっかけをつくるため、タッチプールでのふれあいやパネル展示等を行う。大淀川流域に生息する国内種と外国種を比べて学ぶことができるように、生体や標本の展示を行う。	6月29日(土) ～ 9月16日(月・祝)
3	企画展 「よく見てみよう！ちよっぴりこわい生き物展」	生命の存在価値や命の尊さについて考える契機とするため、一般的に嫌悪されたり、怖がられたりする生物の生体展示やパネル展示を行う。	9月21日(土) ～ 10月27日(日)
4	秋の特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ガラ・ルフア フィッシュ体験」	来館者が、身近な生物と触れ合うよさを感じたり、人と動植物のつながりについて考えたりするために、人の角質を食べてくれる魚ガラ・ルフアの生態を体験できるタッチプールやパネル展示を行う。	10月5日(土) ～ 11月4日(月・祝)

No.	企画展示名	内 容	実施時期
5	企画展 「変身しよう！みんなの寝ころびアート展」	厳しい自然界を生き抜くために進化してきた昆虫や植物の体の仕組みについて理解したり、自然がもたらす造形美を実感したりするために、動植物の拡大写真パネル展示や生体展示を行う。	11月16日(土) ～ 12月15日(日)
6	企画展 「県産材積み木で遊ぼう！」	大淀川の恵みを育む森林や樹木に慣れ親しみ、宮崎の豊かな自然に気づく機会を設けるために、宮崎県産材を使った積み木約二万個で、自由に作品づくりができる企画を行う。	12月7日(土) ～ 3月25日(水)
7	企画展 「幸せかもんカメカメ展」	動植物と人間の古来より続く生活に根ざした関りについて気付き、生き物を大切にしようとする心を育むため、縁起物として昔から大切にされてきたカメにスポットをあてて、生体展示やパネル展示等を行う。	12月21日(土) ～ 1月13日(月・祝)
8	企画展 「カラー魚拓への誘い」	サカナの特徴について関心をもち、自然がもたらす造形美を実感するために、館内各所へカラー魚拓の展示を行う。	1月9日(木) ～ 2月11日(火・祝)
9	企画展 「春一番！ひな山展」	大淀川流域の綾町で育まれた「ひな山」文化を知り、大淀川流域の民俗文化に対する関心を高めるために、エントランスホールへ、実際のひな山を展示する。	2月1日(土) ～ 3月3日(火)

(4) 作品展示と募集

大淀川流域の豊かな自然や美しい街並みを再評価する中で、郷土に対する愛情を育み、市民が文化的活動に勤しむ機会を提供するために、二つの作品展を主催する。

No.	作品展名	内 容	実施時期
1	作品展 「第19回大淀川流域の写真展」	大淀川流域の自然や街並みなどを見つめ直し、宮崎のよさを再発見するために、大淀川流域の自然や風景をテーマにした写真を募集、展示する。	9月10日(火) ～ 9月29日(日)
2	作品展 「第25回大淀川流域の動植物画コンクール」	動植物を観察する視点を育み、観察フィールドで、直に自然と触れ合う機会をつくるため、大淀川流域に生息する動植物の精密画を募集し、入賞作品を展示する。	10月5日(土) ～ 11月10日(日)

(5) 川のシアター

大淀川流域の自然環境に対する興味・関心を高め、視覚的な理解を促すために、オリジナルの3Dハイビジョン映像を上映する。

No.	上映名	内 容	実施時期
1	定時一般上映	平日は5回、土日及び祝日は6回、定時に大淀川流域の自然に関する3Dハイビジョン番組の上映を行う。	通年

No.	上映名	内 容	実施時期
2	団体上映	利用団体の学習ニーズに応じて、団体代表者と相談して番組を選択し、特別に上映する。	随時
3	臨時上映	夏季休業中は、増加する来館者の要望に応え、当館の利用促進を図るために、平日も毎日6回上映する。	夏季休業期間

3 学校対応事業

(1) 授業支援

学校教育における理科離れを食い止めるため、小中学校からの協力要請に応じて、職員の専門性を活かした出前講座や見学プログラム等の学習支援を行う。また、キャリア教育への支援の一環として、職場体験学習の受け入れも積極的に行う。

(2) 指導者支援

学校教育における理科離れを食い止めるため、具体的な指導方法や教材の準備の仕方等について、小中学生に指導する者へ、職員の経験と専門性を活かした支援を行う。また、必要に応じて資料提供も行う。

No.	講座名	内 容	定員	実施時期
1	授業力向上 チョウ講座 (実験・工作室)	チョウの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	30人	4月18日(木) 5月9日(木)
2	授業力向上 メダカ講座 (実験・工作室)	メダカの生態や育て方など、指導に使える情報や素材を提供する。	15人	5月31日(金)

4 団体対応事業

公益財団法人として、地域づくりに貢献するため、生涯学習や郷土学習、環境学習に関して、子ども会やPTA、学童保育等の教育に関係する団体や行政機関における環境部局等から要請があった際、出前講座や見学プログラムの設定、共催企画の開催等の支援を行う。

5 教室事業

(1) 環境教室

大淀川流域の自然環境保護や水質保全について興味をもち、理解を促すため、観察や調査、見学等を行う。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	ホタル環境教室 (実験・工作室)	実際にホタルの成虫を観察することを通して、ホタルの生態を理解する。	40人	5月18日(土)
2	川の生き物で 水質環境調査(春) (深年川 法華嶽)	春の水生生物を指標とする水質調査とバックテストを比較して、大淀川の水質に対する理解を深める。	30人	5月26日(日)

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
3	自由研究にぴったり！ 浄水場見学会 （上下水道局施設）	宮崎市上下水道局と連携し、 関連施設を見学することを通して、 水の大切さを理解する。	20組	7月30日（火）
4	川の生き物で 水質環境調査（夏） （大淀川本流・支流）	夏の水生生物を指標とする水 質調査とパックテストを比較し て、大淀川の水質に対する理解 を深める。	30人	8月11日（日）

（2）飼育・観察教室

大淀川流域の動植物について知ること、動植物の飼育や観察に対する興味・関心を高めるために、生体の観察や生息環境の見学、飼育方法の講話等を行う。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	メダカの 飼育・観察教室 （実験・工作室）	メダカの飼育の仕方を学習し、 卵の観察をすることを通して、身 近な魚への興味・関心を高める。	12組	6月1日（土）
2	明かりに集まる 昆虫観察会 （里山の楽校）	里山の楽校において、ライトト ラップに集まった昆虫を観察す ることを通して、昆虫観察への興 味・関心を高める。	20組	7月6日（土） 予備日7月13日
3	バスで行くオオムラサ キ自然観察会 （須木地区ほか）	宮崎昆虫同好会と連携し、小林 市を中心に大淀川流域に生息す るオオムラサキを観察すること で、国蝶オオムラサキへの興味・ 関心を高める。	20人	7月7日（日）
4	カブトムシ・ クワガタムシの 飼育・観察教室 （実験・工作室）	カブトムシ・クワガタムシの飼 育の仕方を学習し、その生態を観 察することを通して、身近な昆虫 への興味・関心を高める。	40人	7月15日（月・祝）
5	水辺の生き物 観察会 （水辺の楽校）	水辺に集まる冬鳥や昆虫の観 察を行うことを通して、身近な動 物への興味・関心を高める。	20組	2月23日（日）

（3）活動教室

大淀川流域の自然環境に親しんだり、動植物の生態や特徴を体験的に理解したりするために、大淀川での体験活動や大淀川流域の自然素材を活用した活動を行う。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	アユの稚魚を 放流しよう！ （柳瀬橋下河原）	アユの稚魚を大淀川に放流する 体験を通して、大淀川の魚や環境に 親しむ。	20組	5月11日（土）
2	ミツバチのハチミツを あつめよう！ （里山の楽校）	巣箱内のハチの様子を観察しハ チミツ採取を行うことを通して身 近な昆虫の生態について理解する。	20組	5月19日（日） 予備日5月25日

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
3	ハーブティーを 楽しもう！ （杉の家）	ハーブの育て方や楽しみ方を体験して、植物の利用方法や効用について理解する。	20人	10月20日（日）
4	シイタケの種駒 打ちをしよう！ （里山の楽校）	シイタケの種駒打ちを体験して、里山やキノコに対する理解を深める。	20組	3月1日（日）
5	食べられる野草を探し てみよう！ （水辺の楽校）	水辺の楽校にある食用、薬効のある植物を採集することを通して、身近な野草に親しむ。	20組	3月22日（日）

（4）ものづくり教室

身近な自然を保護する方法や、動植物を記録する方法、自然の恵みを生活に活かす方法について、実体験を通して知るために、大淀川流域の自然素材に親しみながらものづくり活動を行う。

No.	教室名（開催場所）	内 容	定員	実施時期
1	昆虫標本を 作ろう！ （実験・工作室）	採集したチョウやトンボを使って標本を作ることを通して、身近な昆虫を記録する方法について知る。	20人	6月23日（日）
2	植物標本を 作ろう！ （実験・工作室）	標本作製の講義と演習を通して、身近な植物を記録する方法について知る。	20組	7月21日（日）
3	貝がらで 工作しよう！ （実験・工作室）	河口域に生息する貝殻を使って、オブジェを作ることを通して、自然素材を生活に活かす方法を知る。	20組	8月10日（土）
4	植物でウェルカム ボードを作ろう！ （実験・工作室）	身近な植物を使ってウェルカムボードを作ること、植物の活用方法を知る。	10組	9月28日（土）
5	野鳥の巣箱を 作ろう！ （実験・工作室）	野鳥の巣箱を作ることを通して、野鳥の生態や森林保護の必要性を知る。	10組	11月10日（日）
6	まっぼっくりでクリスマス ツリーを作ろう！ （実験・工作室）	まっぼっくりを使って、季節感豊かなクリスマスツリーを作ること、伝統文化と自然環境の関係性について知る。	20組	12月1日（日）
7	ミツロウでオリジナルキャ ンドルを作ろう！ （実験・工作室）	ミツバチの巣から採ったミツロウを用いて、自分だけのオリジナルキャンドルを作ること、自然の恵みを有効に活用する方法を知る。	10組	12月14日（土）
8	カラー魚拓を 制作しよう！ （実験・工作室）	カラー魚拓を制作することを通して、魚の体のつくりなどを観察し、大淀川にすむ魚に親しむ。	10人	2月9日（日）

(5) 園児教室

宮崎市及び国富町・綾町の幼稚園、保育所等の園児を対象に、動植物の観察やふれあい体験、工作活動を通して生き物に対する関心を高める。

(11月～2月の期間に29回開催)

6 イベント事業

(1) 季節のイベント

大淀川学習館の利用を促進することで、家族で大淀川流域の自然について学んだり、環境に対して関心を寄せたりする機会を増やすために、楽しみながら季節を感じることもできるイベントを開催する。

	イベント名	内 容	対象・定員	実施時期
春	水辺の楽校！植物の名前当てに挑戦しよう！ (水辺の楽校)	植物に関するクイズに答えながら、春の自然観察を楽しむ。	20組	4月21日(日) 予備日 4月28日
春	カブトムシの幼虫を育てよう！ (宮崎科学技術館連携事業)	前日に宮崎科学技術館で配布したチケットを持参した来館者へ、カブトムシの幼虫を贈呈する。	宮崎科学技術館来館者	5月6日(月・祝)
夏	カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会 (レクチャー室)	カブトムシ・クワガタムシに関するクイズを楽しむ。	小学生以上 先着100人	7月14日(日)
夏	カブトムシの木登り大会 (レクチャー室)	飼育しているカブトムシを持ち寄り、木登りを楽しむ。	先着事前 申込100人	7月27日(土) 予備日 8月3日
夏	クワガタムシのすもう大会 (レクチャー室)	飼育しているクワガタムシを持ち寄り、すもうを楽しむ。	先着事前 申込100人	7月28日(日) 予備日 8月4日
秋	小魚すくい大会 (本館池周辺)	金魚すくいの要領で、小魚をすくって楽しむ。	小学生以下 先着100人	9月15日(日) 予備日 9月22日
秋	ミニつり大会 (本館池周辺)	特設プールに浮かべた、発泡スチロール製の魚を釣って楽しむ。	小学生以下 先着100人	10月14日(月・祝) 予備日 10月19日
冬	ふれあいもちつき大会 (本館池周辺)	古来より正月を迎える準備として行われてきた、日本の伝統文化であるもちつきを楽しむ。	全来館者 なくなり次第	12月21日(土)
冬	昆虫輪投げ大会 (レクチャー室)	チーム対抗で、昆虫が描かれた的を狙い輪投げを楽しむ。	全来館者 先着100人	1月5日(日)
冬	大淀川学習館クイズ大会 (レクチャー室)	大淀川や大淀川学習館に関する問題に挑戦する。	全来館者 先着50人	2月16日(日)

(2) ふれあいウィークエンド

大淀川流域の自然や文化を理解し、参加者の文化的活動を促進する機会を設けるために、四季の移ろいや大淀川流域の自然・文化をテーマに設定して、家族で楽しみながら創作を行うイベントを開催する。

No.	イベント名	内容	定員	実施時期
1	ミニ鯉のぼりを作ろう	紙を使って、小さな鯉のぼりの飾りを作る。	40人	4月20日(土) 4月27日(土)
2	新聞紙で かぶと飾りを作ろう	新聞紙を使って、かぶと飾りを作る。	40人	5月3日(金・祝) 5月4日(土・祝)
3	針金アメンボを 浮かせよう	里山に自生している植物の葉を使って、おもちゃを作る。	40人	5月18日(土) 5月25日(土)
4	紙コップで ゲコゲコガエルを作ろう	紙コップを使って、音のでるおもちゃを作って遊ぶ。	40人	6月8日(土) 3月14日(土)
5	折り紙で水族館を作ろう	折り紙で折った魚等を箱に吊るして、ミニ水族館を作る。	40人	6月15日(土) 10月26日(土) 3月7日(土)
6	七夕飾りを作ろう	紙を使って、小さな七夕飾りを作る。	40人	6月29日(土)
7	カブトムシの 捕まえ方を知ろう!	カブトムシの捕まえ方や飼育の仕方などを家族で学ぶ。	40人	7月6日(土)
8	紙コップで 鳴きセミを作ろう	紙コップを使って、音のでるおもちゃを作って遊ぶ。	40人	7月20日(土)
9	カブトムシ・クワガタムシの切り紙	一枚の紙から、カブトムシやクワガタムシの型に沿って、切り抜く。	40人	8月12日(月) 8月15日(木)
10	カブトムシ・クワガタムシの折り紙	折り紙をつかって、カブトムシやクワガタムシの形を作る。	40人	8月17日(土) 8月24日(土) 8月31日(土)
11	紙コップで工作しよう	紙コップを使って、おもちゃや人形などを作って遊ぶ。	40人	9月14日(土)
12	タネ模型を飛ばそう	紙を使って、風で運ばれる種の模型を作り、飛ばして遊ぶ。	40人	11月2日(土)
13	木の実でクリスマスツリーを作ろう	木の実をつかった、ミニクリスマスツリーを作る。	40人	11月30日(土)
14	お正月飾りを作ろう	紙を使って、小さなお正月飾りを作る。	40人	12月22日(日)
15	カブトムシの幼虫を大きく育てる方法を知ろう	冬を越しているカブトムシの幼虫の育て方を家族で学ぶ。	40人	1月4日(土)

No.	イベント名	内容	定員	実施時期
16	節分飾りを作ろう	紙を使って、小さな節分飾りを作る。	40人	1月25日(土)
17	紙コップで鳥のおもちゃを作ろう	紙コップを使って、鳥のおもちゃを作って遊ぶ。	40人	2月15日(土)

(5) 講演会

市民が「自然を大切に作る心」や「郷土愛」を育むために、自然環境の実態や環境保全に関する専門家を講師に招き、講演会を開催する。平成31年度は、25周年記念事業の一環として実施する。

7 その他

(1) 多様な学習フィールド

No.	学習フィールド名	内 容
1	里山の楽校 (杉の家)	体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場として活用するため、大淀川流域の自然や文化を育んできた里山を再現した学習フィールド「里山の楽校」の維持管理に努める。 また、付設の「杉の家」では、大淀川流域の地形を観察できる固定望遠鏡の設置や里山の動植物に関する展示等を行う。
2	大淀川 水辺の楽校	宮崎市公園緑地課が管理する「大淀川水辺の楽校」も、体験学習のフィールドや展示生体のための昆虫・植物採集の場として活用するために、公園緑地課と連携・情報交換を行いながら、維持管理に努める。

(2) 広報の充実

大淀川学習館の活動内容を周知し、主催事業への参加や見学に対する意欲を喚起するために、情報発信の工夫を行う。

No.	広報活動名	内 容
1	年間行事 カレンダー	小中学校を対象に、校外学習での活用や休日の家族利用を促進するため、紙媒体による広報を行う。
2	月行事案内 企画展案内	福祉施設の利用促進や社会教育施設間の回遊性を高めるために、月行事や企画展の案内チラシとポスターを配布する。
3	ホームページ	ニーズに応じた情報提供を行うために、インフォメーションと学習機能を兼ね備えたホームページを開設する。
4	ソーシャル ネットワーキング サービス	公開する情報の即時性を高めるために、ブログやフェイスブックなどの常時更新に努める。
5	掲示板・案内板	来館時に情報を得ることができるようにするため、掲示板や案内看板の活用も図る。
6	マスメディア	展示生体の変化や特徴などについて、広く市民への理解を促し、自然環境への興味を喚起するために、マスメディアへの情報提供に努める。

(3) 他館との連携

自然科学や社会科学に対する市民のニーズに応え、科学的全般に対する興味を喚起するために、宮崎文化振興協会が管理する他施設と横断的に連携して、事業を行う。

(4) 各種関係団体やボランティア等との連携

開館当初からの協力団体である宮崎昆虫同好会やホタル保存会を始め、宮崎内水面漁業協同組合など多くの関係団体に加え、国土交通省や県、市などの行政機関との連携を継続して推進する。また、動植物に関して高い見識を有する人材を積極的に活用した事業拡充に努める。

平成31年度宮崎市民プラザ事業計画書

1. 管理運営について

宮崎市民プラザの運営にあたっては、地方自治法や宮崎市民プラザ条例をはじめとする関係法令、平成30年度からスタートした第五次宮崎市総合計画や第二次宮崎市教育ビジョン、第三次宮崎市文化振興計画などとの整合を図り、市との密接な連携のもと、施設の設置目的に沿った管理運営と事業の充実に努め、次のとおり本施設運営のための基本方針を定めます。

基本方針1：公平・公正な管理運営

宮崎市民プラザ条例及び同条例施行規則等を遵守の上、自らの責任と判断により、特定の個人や団体に対して有利あるいは不利になるような取り扱いをせず、偏りのない平等で適正な管理運営に努めます。

基本方針2：満足度の高い管理運営

市民や施設利用者の意見・要望等を管理運営に反映させるとともに、施設利用者には利用者目線でアドバイスやサポートを行うことで、満足度の高い管理運営に努めます。また、定期的な接遇研修の実施により利用者に対する接遇能力を高め、利用者の満足度向上に繋がります。

基本方針3：安心・安全で効率的な管理運営

非常時に備えた定期的な防災訓練や研修を踏まえ、施設内の巡回や設備の日常点検、利用者に注意を促す掲示等により未然防止を図ります。更に、万一の災害時・緊急時には、危機管理体制に基づき、その対応に万全を期し、利用者の安全確保を図ります。また、業務等の効率化を積極的に行うことで、無駄のない管理運営に努めます。

2. 文化芸術企画事業について

市民プラザ条例における設置目的や文化芸術基本法、劇場法、第三次宮崎市文化振興計画などの国・自治体の文化行政の理念及びその方向性、更には地域の文化芸術資源などを反映させ、独創性の高い事業を企画・実施し、市民文化活動及び文化芸術の振興に寄与します。特に、第三次宮崎市文化振興計画において、重点プロジェクトに位置付けられている「若い世代へのアプローチ」と「文化芸術活動支援環境の整備」を柱に、次のとおり取組方針を定めます。

取組方針1：市民文化の振興

子どもから高齢者まで、幅広い世代にわたる市民に対して、気軽に文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、市民文化の振興を図ります。

取組方針２：若い世代へのアプローチ

子どもや青少年などの若い世代に対して、インターネットやSNS等を活用して文化芸術の魅力を発信するとともに、文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供し、興味関心を高めるためのアプローチを図ります。

取組方針３：文化芸術活動への支援

音楽や演劇、舞踊、伝統芸能等の市民の幅広い文化芸術活動については、一定条件のもと当協会と文化芸術団体等が共催し、施設使用料等免除のほか、ノウハウ等の提供や助言、広報及びチケット販売協力などにより支援します。

３．事業の概要及び実施時期について

No	事業名	内容	実施時期
取組方針１：市民文化の振興			
1	第１３回 市民プラザコンサート 【創造・参加型事業】	市民参画による実行委員会が、テーマをもとに企画制作し、宮崎に縁のある演奏家やアーティスト等を出演者に起用する、趣向を凝らしたコンサート。	８月３１日（土）
2	市民プラザ寄席 【鑑賞型事業】	宮崎出身で落語家の桂歌春さんがプロデュースする寄席。自身が理事を務める落語芸術協会のネットワークを活かし、人気の高い著名な落語家を迎える二人会。	１１月２４日（日）
取組方針２：若い世代へのアプローチ			
3	【新規】 創作ジュニア・ミュージカル「海幸と山幸」 【創造・参加型事業】	宮崎大学名誉教授で、宮崎県オペラ協会会長の地村俊政さん（ミュージカル・アーツ宮崎代表）を総監督に迎え、キャストに県内の小中高大生を起用する、宮崎の神話伝承をモチーフにした創作ミュージカル。	１月１８日（土） １９日（日）
4	【新規】 ボックスステージ体験 【普及・育成型事業】	校外学習の一環として、舞台機構や音響・照明設備の説明のほか、催し物を想定して機材を操作してもらうなど、小学生を対象としたボックスステージ体験。	通年
5	桂 歌春の落語教室 【普及・育成型事業】	宮崎出身で落語家の桂 歌春さんと宮崎の小学生が交流する機会を創出し、古典芸能である落語を体験して身近に感じてもらう、ワークショップを取り入れた落語アウトリーチ事業。	未定

No	事業名	内容	実施時期
6	子どものための文化 芸術体験プログラム 【普及・育成型事業】	子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるとともに、 文化芸術体験を通して心豊かな感性を育むため、演奏家 や文化芸術団体等を小学校や幼稚園に派遣し、ワークシ ョップを取り入れたアウトリーチ事業。	未定
取組方針３：文化芸術活動への支援			
7	音楽・演劇・舞踊・伝 統芸能等 【共催事業】	当協会の運営方針に合致し、文化芸術の普及振興に寄 与する市民や文化芸術団体等の自発的な活動と連携し、 ノウハウ等の提供や助言、広報及びチケット販売等の協 力により支援する共催事業。	通年

平成31年度公益財団法人宮崎文化振興協会 事務局 事業計画書

基本方針

1 法人組織の円滑な運営

公益財団法人の円滑な運営のため、法や制度改正などを適切に処理し、評議員会・理事会などの法人組織の運営と関係機関・団体との連携及び調整に取り組む。

2 指定管理業務の円滑な推進

宮崎科学技術館、宮崎市歴史資料館（みやざき歴史文化館、佐土原歴史資料館、天ヶ城歴史民俗資料館）、大淀川学習館、宮崎市民プラザの6施設の指定管理業務の円滑な推進のため、経営会議などを通して、市並びに各施設との密な連絡調整を図る。

また、科学技術館、宮崎市歴史資料館、大淀川学習館については、指定管理最終年度となるため、引き続き指定管理者指定を受けられるよう取り組んでいく。

3 円滑な人事管理

採用、異動、給与、福利厚生、研修など協会職員の人事管理を円滑に行う。特に職員の健康管理への対応並びに資質向上のための研修に取り組む。

4 協会の目的達成のために必要な事業の推進

協会の目的達成のため、機関誌発行、協会モニター、子どもたちのための音楽会など協会全体として行うことが効果的な事業の推進に努める。

事業概要

1 法人の管理運営事業

協会組織の円滑な運営のため、定例評議員会（6月）、定例理事会（6・3月）のほか、必要に応じて臨時会を開催する。

指定管理業務の円滑な運営のため、市並びに各施設と密な連絡調整を行う。

法人の総務・人事・財政に係る業務を適正に行う。

2 研修事業

職員の資質向上と能力開発のため、管理職研修や係長研修など階層別研修や、接遇研修、広報研修などテーマ別研修に取り組む。

3 健康管理事業

職員の健康管理のため、産業医による健康相談、健康をテーマとした講演会などを行う。

4 その他

協会全体として行うことが効果的な事業を行う。

経営戦略課主導事業

事業名	内 容	実施時期
機関誌「まなぶんか」発行事業	イベント開催情報の掲載だけではなく、科学・歴史・自然・文化・教育等の視点によるトピックスや催事内容を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を刊行することで、施設利用者増へ繋げる。 県内小中学校や県内市町村教育委員会、公民館等に加え、市内小児科医院・県内図書館・博物館・公立文化施設にも配布する。	年4回
協会モニター事業	施設利用者の意見を施設運営や事業に反映させることを目的に、協会モニターを公募し、各施設のモニタリングや意見交換会（年2回）を実施する。	通 年
子どものための音楽会事業	乳幼児とその保護者に生の音楽を身近に感じてもらうことを目的に、各施設において乳幼児とその保護者を対象としたコンサートを実施する。各施設年1回の実施。	5月～3月 (計6回)
1日こども館長事業	科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりを行なうことを目的に、各施設において小学生を対象とした職場体験を実施する。	8月～1月 (計4回)
教育施設としての施設利用推進事業	小中学校の学習指導要領と各施設の展示物を関連付けた学校利用ガイドブックと施設利用ガイドポスターを活用した「授業支援プログラム」の周知を図る。 また、学習指導要領の改定・実施にあわせて学校利用ガイドブック改訂をするための調査研究を行う。	通 年
学術・科学技術・文化・芸術振興のための研究事業	職員が日常業務の中で課題を見つけて、研究テーマを設定し、年間を通して課題解決に向けた研究を行うことで、職員の能力開発、資質向上を図る。 研究成果については、協会内で研究発表会を実施するとともに、研究報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。次年度以降の業務改善につなげるとともに、協会の定款に定められた学術及び科学技術、文化及び芸術の振興に寄与する。	通 年